

岐阜高専 TOPICS

『木谷高専機構理事が岐阜高専を視察』

去る2月12日（木）、木谷高専機構理事が、午後に予定されている平成20年度東海・北陸地区国立高等専門学校長会議の出席に先立ち、岐阜高専を視察した。

榊原校長から、岐阜高専の概要、入学志願者状況等の説明の後、情報処理センター演習室で英語の授業を参観し、河村地域技術開発・教育センター長から産学官連携の現状と課題の説明の後、平成21年度改修予定の実習工場を視察した。

また、大垣共立銀行の産学官コーディネートサービスを利用し、本校が環境実験と性能評価を担当している特殊加工段ボール製の避難用仮設テント（同テントは平成19年3月発生した能登半島地震の救援物資として提供）、現在改修中の学生寄宿舍の各施設を視察し、グリットシステム（分散したコンピュータを多数結合し、高い処理能力を実現する技術）の概要とさらなる研究開発等、担当教員等から詳しい説明を受けた。



実習工場の説明を受ける木谷理事（中央）